

# 第1地区が秋色に染まる



参加者の皆さん

平成 22 年度第 1 回集落活性化事業～秋の第平地区散策～は 11 月 3 日に開催されました。

参加した皆さんは、第平地区集会所から生合戸に祀られている「延命地蔵尊」までのコースを散策し、地蔵尊の前でいわき漣笛会（鈴木重雄会長）の皆さんの篠笛ミニコンサートを鑑賞しました。木漏れ日を浴びたお地蔵様の前で、汽車、とんぼのめがね、里の秋、紅葉の演奏が披露されました。山深い昔の盆踊り広場跡の森の中に響く笛の音は心に優しく響くものでした。

その後、河原を会場にみんなで芋煮会を行い、第平地区の皆さんといわき明星大学鎌田ゼミ 鎌田真理子教授と学生の手づくりのごちそうに舌鼓を打ちました。

最後に鈴木恵太郎行政区長が「水がきれいでも何もない自然豊かな土地ですがまた機会があったらおいでください。」とあいさつしました。

集った 55 人の参加者は、紅葉の色づき始めた第平路を散策して、とんぼのめがねの生まれた地区のすばらしい自然に触れ、そこに住む皆さんの心温まるおもてなしといわき明星大学生と交流を図れたことに満足している様子でした。

町は昨年、過疎化活性化対策として、いわき明星大学生に第平地区の集落調査や、草刈ボランティアへの支援をいただき、過疎化が進む第平地区の活性化に取り組んでいます。この事業は、その調査結果を踏まえて実施されたものです。

参加された方に感想を伺いました。

篠笛ミニコンサートの演奏に訪れた、いわき漣笛会の佐藤明子さんより第平の延命地蔵尊の詩の寄稿がありました。

## 地蔵さまが見てくださる

いわき漣笛会 佐藤 明子さん  
(名取名 山口 華鏡)

山へ山へと続く一本道  
切立つ崖の落石注意  
溪流への転落注意  
と、忽然とあらわれる桃源郷  
鎮守の杜のお地蔵さま  
むかしむかしから  
村の平安と祭りを見てござった  
豊かな町へ一人二人  
便利な都市へ一戸二戸  
そうして村は年老いて  
誰も彼も地蔵さまを忘れてしまった  
地蔵さまは尊深く姿を隠してしまわれた  
森へ森へと続く一本道  
赤松は松喰い虫に負けてないよ  
もみじは紅葉を忘れてないよ  
と、燦然とあらわれる地蔵さま  
音楽好きのお地蔵さま  
むかしもいまも  
里の平安と祭りを見てござった  
とんぼのめがねでホイホイ  
とんびまあれでピーヒョロロ  
木漏れ日をあびて地蔵さまが  
踊ってござる唱ってござる  
笛吹き楽人と里人を見てござる

山深い、昔の盆踊り広場での演奏、  
里山の素晴らしいと限界集落の  
厳しさを知りました。

## 川崎 日生子さん

澄みきった青空の中、役場を出発し、色づき始めた紅葉を眺めながらバスに揺られて第平集会所に着きました。いまだ一度も来る機会がなかったため、やっとなんか叶いました。第平は、私が思い描いていた以上に広々とした自然豊かな所でした。

集会所から延命地蔵尊までの散策も、一緒に参加した皆さんと景色を見ながら会話も弾み、あつという間に到着しました。

延命地蔵尊は、悪病除けの地蔵さまとして祀られているとのことだったので参拝しました。

また、地蔵尊の前では、いわき漣笛会のみなさんによる篠笛ミニコンサートが行われました。木漏れ日の中、響き渡る篠笛の音色は、幻想的で、しばし現実を忘れさせてくれ、心が洗われるようでした。

ミニコンサート後は、芋煮会の場所まで移動。会場は田んぼの脇の土手で、側には小川があり、きれいな水が流れていました。おいしい空気とともに第平の皆さん、明星大学生の温かい手料理（具だくさんの豚汁、おふくろの味のイカとじゃが芋の煮物、じっくり炭火で焼いたさんま焼き、大きな羽釜で炊いたご飯、焼き芋）に舌鼓をうち、満腹になるほど美味しく頂きました。食事中も皆さんとの交流を深めることができ、楽しい一日となりました。第平の皆さん

には温かく迎えて頂き心より感謝しております。

今回、参加することにより、町が第平地区を落活性化化する目的で昨年度から取組んでいる事業の一環であることや、福島県の委託を受けたいわき明星大学の学生さんが深く関わっていることを初めて知りました。町民の一人として頭の下がる思いとともに、今後に関心を持ち見守って行きたいと思

います。

## いわき明星大学人文学部 現代社会学科 3 年鎌田ゼミ 山本 大貴さん

広野町の第平地区で行われた芋煮会にいわき明星大学の学生も参加させていただきました。

朝の散策では他の参加者の方々と自然の風景にどこか懐かしさを感じながら歩きました。そして、延命地蔵尊の前で行われた篠笛の演奏は、会場の神秘的な雰囲気と優しい笛の音色がとても印象的でした。その後の川原での芋煮会では、地元の方たちと一緒に手作りの豚汁や羽釜で炊いたご飯、炭火で焼いたさんま、焼き芋などの料理を準備しました。参加された方々は、美味しいとおかわりしてくれてとてもうれしかったです。川原のそばの土手にビニールシートや段ボールを敷いてその上に座ってご飯を食べるという日頃体験できないことが体験できて楽しかった。

です。

今回の第 3 回集落活性化事業に参加してみて一番の感想は、第平地区にはまだまだ私たちの知らない良い所がたくさんあるということです。いわき明星大学の鎌田ゼミの学生は昨年から福島県の委託を受けて、第平地区への活性化支援事業に取り組んでいます。その中で、昨年、聞き取り調査を実施して集落について調べてきました。私たち 3 年生は 4 年生の調査結果や報告といったデータだけでなく、第平について知りませんでした。ですが、今回の参加によって生の第平地区に触れ、住民の方々と交流することで、データだけでは知りえなかった集落の姿を見ることができました。

今後も私たちの集落支援の活動は続きます。これまでは、いかに集落の外の人に第平を知ってもらうのかを考えてきました。これからは、外だけに目を向けるのではなく、集落の内側にも注目し、第平をより深く知ること新たな PR ポイントの発見にもつながるのではないかと考えています。次に訪れる際には地区の方々とともにたくさんお話して、第平の素敵な所をいっぱい教えて欲しいです。最後に、本当に今回は貴重な体験をさせていただきありがとうございます。準備から片付けまでお疲れ様でした。また何かイベントなどありましたら是非一緒にさせていただきます。

## 木漏れ日が差すミニコンサート



芋煮会では焼き芋も振舞われました